

讃美歌21 356

1 インマヌエルの 主イエスこそ  
敵を破り 世に勝ち、  
とらわれたる 人々を  
解き放つ 救い主。  
永遠のいのち、永遠の幸、  
与えたもう いつくしみ。

2 力強き そのみ手は  
悩む者を 励まし、  
愛に満つる み心は  
頼る者を 見捨てず。  
悲しみをも 痛みをも  
憐れみもて いやしたもう。

3 わが心よ、強くあれ。  
わが魂、しずまれ。  
戦いにも たじろがず  
波風にも 動かず、  
共にいます インマヌエル  
とこしえまで 支えたもう。

4 富と力、国もまた  
父の神の ものなり。  
栄えと知恵 主に帰せよ、  
ほふられし 小羊に。  
わが内なる ものすべて  
ほめたたえよ、聖きみ名。

EG66 T. Johann L.K.Allendorf M: Kötchen

1 Jesus ist kommen, Grund ewiger Freude; A und O, Anfang und Ende steht da. Gottheit und Menschheit vereinen sich beide; Schöpfer, wie kommst du uns Menschen so nah! Himmel und Erde, erzählet's den Heiden: Jesus ist kommen, Grund ewiger Freuden.

2 Jesus ist kommen, nun springen die Bande, Stricke des Todes, die reißen entzwei. Unser Durchbrecher ist nunmehr vorhanden; er, der Sohn Gottes, der machet recht frei, bringet zu Ehren aus Sünde und Schande; Jesus ist kommen, nun springen die Bande.

3 Jesus ist kommen, der starke Erlöser, bricht dem gewappneten Starken ins Haus, sprengt des Feindes befestigte Schlösser, führt die Gefangenen siegend heraus. Fühlst du den Stärkeren, Satan, du Böser? Jesus ist kommen, der starke Erlöser.

4 Jesus ist kommen, der Fürste des Lebens, sein Tod verschlinget den ewigen Tod. Gib uns, ach höret's doch ja nicht vergebens, ewiges Leben, der freundliche Gott. Glaub ihm, so macht er ein Ende des Lebens. Jesus ist kommen, der Fürste des Lebens.

5 Jesus ist kommen, der König der Ehren; Himmel und Erde, rühmt seine Gewalt! Dieser Beherrscher kann Herzen bekehren; öffnet ihm Tore und Türen fein bald! Denkt doch, er will euch die Krone gewähren. Jesus ist kommen, der König der Ehren.

6 Jesus ist kommen, ein Opfer für Sünden, Sünden der ganzen Welt trägt dies Lamm. Sündern die ewige Erlösung zu finden, stirbt es aus Liebe am blutigen Stamm. Abgrund der Liebe, wer kann dich ergründen? Jesus ist kommen, ein Opfer für Sünden.

## 「どうしたら、真理を経験できるか」 コリント人への第一の手紙第2章9-10節

「私たちは、奥儀のうちにある、隠された神の知恵を語る・・・「目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、人の心に思い浮かんだことがないものを、神は、神を愛する者たちに備えてくださった(イザヤ書64章)」と書いてある通りでした。それを、神は私たちに御霊(みたま)によって啓示してくださいました。御霊(みたま)はすべてのことを、神の深みさえも探られるからです。」(コリント I 2:10)

現在、日本で接種が進められているCovid-19 ワクチン(ファイザー及びモデルナ製)は、新型コロナウイルスに感染した人間の体内にもたらされる「Sタンパク質」の設計図である「m(メッセンジャー)RNA」が含まれています。

細胞内で、「Sタンパク質」がつくられると、人体の免疫システムは、これを異物と認識し、これを標的にした抗体が形成されます。同じ「Sタンパク質」を持つウイルスであれば、変異ウイルスに対しても、防御システムが働くとされています。また、mRNAは、人間のDNAに影響を与えることなく、数日間で分解されるとされています。4週間程度の間隔で2回接種した場合、2か月後のある調査で発症予防効果が94～97%とされ、ワクチンとしては、驚異的な高さです。

ところが、ワクチンの副反応についての懸念は根強く存在し、接種の拡大に向けて課題になっていることを、皆さんもご存じと思います。アメリカや欧州でも、接種率の上昇の速度が鈍っているのです。日本でも、医療関係者や高齢者を中心に接種が進んだと言っても、6月末の現時点で、2回のワクチン接種が終了した高齢者は、まだ27%程度で、感染拡大そのものを抑制するレベルに達したとは言い切れません。

こうしたなかで、各地で大学での接種が開始され、関学では、7月中旬から、兵庫医科大学の協力を得て、「職域接種」が始まる予定です。

若い世代の皆さんにも、ワクチンへの関心を高めていただくことや、副反応の可能性についてもしっかり学んでいただくことが、非常に重要な時期を迎えています。ワクチン接種について、若年層では、躊躇する人や、関心がない人たちが、4割程度いるという調査結果もあるからです。

新型コロナの世界的感染拡大から、既に1年半近くが経過しています。感染防止のため、経済社会活動を長きにわたって制限しようとすることの限界が露呈しています。また、不十分な医療体制の立て直しは、途上国だけでなく、先進国でも、大きな課題です。

いずれにしても、Covid-19に対して、有効性の高いワクチンがこれほど早期に開発されるなか、接種によって個人の命を守り、経済活動の再生が進むことは、大きな希望となり得ます。

同時に、副反応への懸念から、接種を決断することができない人たちが存在することや、今後とも、ウイルスと共存しながら、経済社会活動も、大学における教育・研究も、活性化していくという課題を背負っているからです。

ワクチン開発が早期に進んだ背景には、遺伝子工学や「ゲノム解析」の急速な進展があります。それは、アフリカを発祥とする人類(ホモ・サピエンス)が、非常に多様な遺伝子を持っていたこと、19世紀に形成された白人を頂点とする「人種」という考え方に根拠がないことも、明らかになっています。

同時に、傷んだ遺伝子を修復させたり、臓器を再生することを可能にするips細胞を生成する技術にも、mRNAが活用されてきました。

ところが、近年、遺伝子そのものを編集する技術が進み、動植物だけでなく、人間の遺伝子を自由に編集する危険性が出てきました。

それにも関わらず、今回のパンデミックを引き起こしたCovid-19のウイルス自体、その構造や働きすら、依然として、謎に包まれたままです。



「秘密」に包まれた世界から、自分の都合のよいことだけ取り出し、分析し、操作しようとすることに、どこかで超えてはいけない一線を引かねばなりません。さもなければ、人類は、生命を破壊し、世界の持っている秘密を解明することなく、人類も、動植物も、地球環境も破壊し尽くしてしまう可能性があります。

ところが、サイエンスの発達した世紀に生きている私たちは、2000年近くも前に記された新約聖書や、さらに数千年前にさかのぼる旧約聖書をから、ますます遠ざかってしまい、学ぶことができない可能性もあります。

現代人の問題は、私たちが、未来を計算できることや、私たちにとって有用であることしか、知ろうとしない生き方にあると思われま

す。コリント人への第1の手紙2章の冒頭は、「三位一体(神様、イエス様及び聖霊が一つであるということ)」の教義に関わる大事な箇所と言えます。そこに引用された詩篇(イザヤ書64章)には、「目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、人の心に思い浮かんだことがないものを、神は、神を愛する者たちに備えてくださった」と書かれています。

計算できること、有用なこと、あるいは、目に見えるものだけが重要なではありません。それでは、サイエンスの進歩はとまり、真理を明かにすることは、とまってしまうのではないのでしょうか。

コロナの危機のなかで、生きることに忙しい私たちは、自分のみたいものや、データに現れたものしか、見ようとしません。加えて、ワクチン接種そのものが、国と国の間の格差を拡大したり、人と人との間で、事実上、差別を助長する効果をもたらす可能性があることに、十分に注意しなければならないはず

実は、大事なことは、ほとんど私たちの目に見えていないのです。最初から数値化され有効だと判定されるのは、その一部にすぎないのです。

しかし、聖書が語っていることは、あなたに見えていないことであっても、あなたには、感じる能力が与えられているということです。

目に見えないことでも、それを想像し、突き止めようとすることなしには、真理は明らかにならないでしょう。

また、現在の自分とは異なる、将来の自分を想像し、可能性を求めて生きようとしないう限り、人間として大きく成長することができないでしょう。

目に見えるものだけで、評価したり、あるいは、批判の対象としたりすることも、悪しき社会の通弊です。

皆さんは、普通の人と違うと思われても、自分で考えてこそ、未知の世界に挑戦することができるのです。コロナの危機の最中にいるからこそ、自分で考え、自分のことだけでなく、この世界の未来を考えようではありませんか。